第1次新城市総合計画（山湊しんしろ経営戦略プラン）

策定の背景

- 市町村合併
- 社会経済情勢の変化と新しい地方自治の展望
- 特性と地政的役割

策定の趣旨

- めざすまちの姿を実現するための手法やプロセスを示す
- 行政の経営の基本方針「経営戦略」を示す

策定の視点

- **新たな公共の視点**
  ～市民自治を実現するための計画～
- **みんなで使う視点**
  ～目標を理解し成果をチェックできる計画～
- **行政経営の視点**
  ～実効性のある計画～

まちづくりの基本理念

市の将来像

SWOT分析

- 「新たな公共」が導く　市民自治社会の実現
- 「市民（ひと）がつなぐ　山の湊（みなと）　創造都市」
- 将来像の実現のための具体化（強みと弱みの分析・整理）

重点戦略とプロジェクト

- まちづくりの分野
- 行政経営の分野

行政経営の基本方針

（1）協働と市民自治社会実現のためのプロジェクト

- ア「地域計画」の策定と位置づけ
- イ　市職員「地域担当制度」の導入
- ウ　地域内分権と行政区の再編
- エ　行政情報の共有

（2）自立のためのプロジェクト

- ア　新城 IC 開通に伴う周辺地区整備と交流
- イ　情報通信基盤を活用した地域間競争力の向上
- ウ　労働・定住人口の確保
- エ　環境育成型市民自治社会の実現

（3）安全･安心プロジェクト

- ア　子育て支援＝次世代人材育成対策
- イ　地震防災対策と消防力の強化～消防･防災協働社会の形成～
- ウ　地域医療体制の確立
- エ　高齢者福祉の充実

（1）行政経営の原則

市民満足度を基調とした成果重視型の行政運営

マネジメントサイクル定着へのプログラム

- ア　政策形成過程における市民参加
- イ　進捗管理システムの構築
- ウ　行政評価と人事評価の連動

（2）経営資源の分野別方針

- ア　財政　～財政運営～
- イ　組織　～行政改革と行政組織～
- ウ　人材　～人材育成～
- エ　情報　～情報発信と共有～

まちづくりの分野別方針

- (1) 自然環境の保全と共生のまち【自然･環境】
- (2)活力あふれる産業振興のまち【産業･経済】
- (3)潤いと快適の住環境のまち【生活基盤･住環境】
- (4)健康と安全・安心のまち【健康･福祉･防災】
- (5)個性を磨く教育・文化のまち【教育･文化･スポーツ】
- (6)住民参加と協働のまち【市民自治・協働】
- (7)健全な行財政運営のまち【都市経営】

計画を推進するための行動指針

1　市民･議会議員･市長･市職員の役割と行動指針

- （1）　市民の役割
- （2）　議会･議員の役割
- （3）　市長の役割
- （4）　市職員の役割

2　計画の進捗管理

- （1）　市民ニーズ把握と市民意向調査
- （2）　市民委員会の設置
- （3）　財政計画の公表
- （4）　施策事業シートの作成
- （5）　総合計画と財政計画との連動
- （6）　市民ワークショップ･シンポジウムの開催

● **将来目標人口（H30 年）**
現在人口（H17）52,178 人⇒　推計（H30）47,013 人　⇒　将来目標 50,000 人

● **土地利用の方向**
＊　基本理念
「豊かな自然環境と都市機能とを調和させた快適な住環境圏域の形成」
＊　５つの基本指針
①既存施設･資源の有効活用による新たな価値の創造　　②活発な民間投資の誘導
③より満足度の高い効果的な投資　　④各種計画に基づく土地の有効利用
⑤各地域の特性を生かすための連携･機能の分担

● **交流･交通連携軸**
①都市連携軸　（＆交流交通の玄関口）　②広域。生活連携軸

● **「市の中心核」と「地域中心核」及び「周辺市域」**
①　市の中心核：新城中部地区（市街化区域を「住環境重点整備地区」と位置づけ）
②　地域中心核：鳳来･作手総合支所周辺地域（地域の生活拠点として人口集積）
③　周辺市域　：ゆとりある生活空間の維持、日常生活基盤の整備、
既存企業団地への企業誘致、民間等による住宅等建設

基本計画の構成

1　基本指標（将来フレーム）●農家戸数●工業製品出荷額●●商業従事者数　他
2　行政経営のビジョン　　●財政　●行政改革　●人材育成　●情報化　●環境
3　重点プロジェクトの基本計画
4　分野別まちづくりの基本計画

- 自然環境の保全と共生のまち
- 活力あふれる産業振興のまち
- 潤いと快適の住環境のまち
- 健康と安全･安心のまち
- 個性を磨く教育･文化のまち
- 住民参加と協働のまち
- 健全な行財政運営のまち

別紙を参照

＊自然環境の保全と共生のまち
1　施策の体系
(1)OOOO　①　施策の基本方針
(2)OOOO　　ア 成果目標（目標の達成度を表す指標）
(3)OOOO　　現在、H22、H26、H30 の目標値
・　　イ　施策の課題
・　　ウ　成果指標（成果を測るための指標）
・　　現在、H22、H26、H30 の目標値
エ　主な事業と活動指標･協働指数
(ア)OOO 事業
・活動指標（目標値）
・協働指数（1～5）
・主体別活動内容